


Loopamp®

LAMP (Loop-mediated Isothermal Amplification) 法

サルモネラ 検出試薬キット

Salmonella Detection Kit



- 食品中のサルモネラ属菌を翌日に検出することができます。

増菌培養後、抽出操作を含めて、わずか2時間以内で検出することができます。

- サルモネラ属菌の遺伝子を特異的かつ迅速に検出します。

サルモネラ属菌の保持する侵入性関連遺伝子*invA*の核酸配列を認識する、特異性の高いプライマーを使用しています。

- リアルタイム濁度測定装置で増幅から検出を1つのチューブで完了します。

LAMP法専用のリアルタイム濁度測定装置を用いて、増幅から検出までをワンステップで行うことができます。また、電気泳動での検出を必要としないため1つのチューブで完了します。

サルモネラ検出試薬キット

Salmonella Detection Kit

●本キットの製品概要

サルモネラ属菌は厚生労働省の食中毒統計で患者数が毎年上位にランクされている病因物質です(2018年は、患者数第4位:厚生労働省のホームページより)。原因食品として、食肉製品、鶏卵、乳製品などが挙げられ、特にサルモネラ属菌で汚染された鶏卵を生そのまま使用した食品によって多発しています。鶏の腸管に存在する菌で汚染された卵が感染源になるといわれています。このような原因食品を食べること、あるいは卵の殻を割った手を洗わずに盛り付けをした弁当を食べることなどによって、発熱、悪心、嘔吐、腹痛、下痢等の症状が現れます。

「食品衛生検査指針」に記載された食品中のサルモネラ属菌の検査方法は培養法であり、判定まで約5日の日数を必要とします。

Loopampサルモネラ検出試薬キットは、抽出試薬で簡単に遺伝子を抽出し、LAMP法によりサルモネラ属菌の保持する侵入性関連遺伝子*invA*を増幅・検出することで、前増菌培養の翌日に、サルモネラ属菌の有無を判定できます。

核酸増幅の検出は、増幅反応の副産物であるピロリン酸マグネシウム(白色沈殿物質)による濁度の増加を測定することによって行います。濁度測定にはLAMP法専用のリアルタイム濁度測定装置を用います。

●キット構成

[1] Extraction Solution for Foods(EX F).....	1.8mL x 3 tubes
[2] 1M Tris-HCl:pH7.0(Tris).....	1.0mL x 1 tube
[3] Reaction Mix. Sal (RM Sal).....	1.0mL x 1 tube
[4] Bst DNA Polymerase(Bst DNA Polymerase).....	60μL x 1 tube
[5] Control DNA Sal(Cont Sal).....	0.1mL x 1 tube

()内は、試薬チューブに記載されている表示です。

●操作手順



※本キットシリーズの使用上の注意等詳細については、使用説明書をご参照ください。
 ※LAMP法専用リアルタイム濁度測定装置に関する内容は
 Eiken GENOME SITE (<http://loopamp.eiken.co.jp/>)をご覧ください。
 ※本キットに使用する反応チューブは、必ず専用の「Loopamp 反応チューブ」または「Loopamp 反応チューブD」をご使用ください。

●包装単位・貯蔵方法・有効期間・製品コード

製品名	包装単位	貯蔵方法	有効期間	製品コード
Loopamp サルモネラ検出試薬キット	48テスト分	-20°C	1年間	LMP601
Loopamp 反応チューブ	8×12 sets	室温	3年間	LMP901
	8×120 sets			LMP905
Loopamp 反応チューブD	8×12 sets	室温	3年間	LMP906
	8×120 sets			LMP907

※製品はWeb SERVE/e Genome Order(<http://genome.e-mp.jp/>)にてご購入いただけます。
 注)本キットシリーズは臨床診断の目的では使用できません。